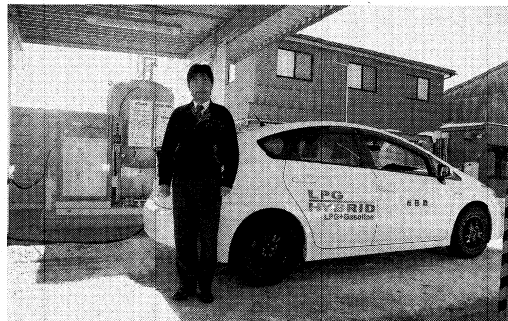


防災にも威力 自治体注目

簡易型LPガススタンド全国へ普及



酒田市のプリウスLPGハイブリッドを点検する小松豊社長。充填なしで2000m近く走る点も評価されている。利便性向上には「オートコンボ」は不可欠だ。

山形・酒田市

官・民で魅力発信

ケイテック「LPG車を身近に」

「LPガス車の魅力を酒田 街として繁盛した活力ある土から世界に発信しよう―」地柄を生かし、官・民でLP日本海に面した庄内平野のガス自動車をもっと世界に広代表都市、山形県酒田市。かげよう動き出している。つて北前交易により商人のLPガスハイブリッド(ハ

イフューエル)自動車の改造用した。販売を手掛けるケテック 市は、多くの市民に見て(同市大宮町、小松社長)「もらおつて車体にPRをスライ」燃料充填のトータルは創業14年。昨年、同市にントし、県内外の遠距離用に「サ」を確立しLPガス車を災害指定を結び会社管内に使った。東日本大震災でのガを身近な存在に押し上げた「オートコンボ」を設置。だ「リン不足を体験した後とあいい」と語る。酒田市の周囲10kmの離島「飛鳥」も抱える。三つの集落は、水没想定地域。市は水没し備え、高台に「オートコンボ」などのLPガス設備の設置を検討したい考えだ。LPガスハイブリッド車にに拡充していく。若手が若いLPガス災害対策先進地へ目を留め、市も同調。災害時の地場の高い技術を後押しし、LPガス災害対策先進地への燃料分散化に公用車に探したい」と意気込む。

湖西市 災害時避難所へ供給 静岡 遠鉄タクシー 経産省の助成活用

カグラペーパーテックの簡易型LPガススタンド「オートコンボ」が全国に普及している。省スペース、敷地内の燃料充填、燃料コスト削減の利点に加え、最近では土壌固化に基づく防災対策上の重要性が認められ地方自治体からも熱い視線が注がれている。各地で活躍する姿を紹介する。

カグラペーパーテック「オートコンボ」

苦境の3セクを再生

青森 上北郡

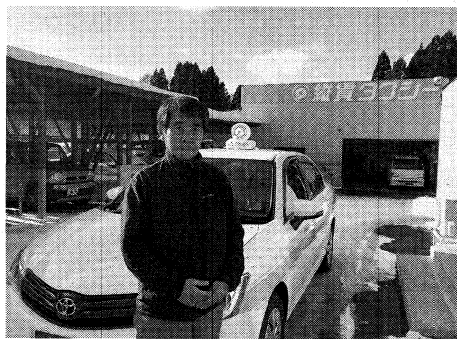
縦貫タクシー 燃料コスト大幅減

下北半島の付け根、青森県、合理化を理由に切り離れた赤上北郡。「縦貫タクシー」字のタクシー事業を営むが、(本社・上北郡七戸町、上野らせたユニークな会社だ。久明社長、44台)は、かつて、野辺地七戸間20kmを運行の3セク。鉄道会社が経営するローカル線・南部縦貫鉄

道は1997年の廃線後も(株) 南部縦貫としてタクシー事業を継続していた。しかし東日本大震災が打撃となり、2013年、売却が決定する。赤事業の買い手はな設備投資や内部留保もできる。赤事業の買い手はな設備投資や内部留保もできる。赤事業の買い手はな設備投資や内部留保もできる。

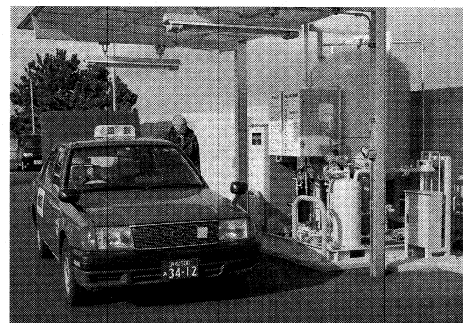
「プロパンガスを卸業者から直接購入するが、オートコンボ導入後、燃料代は3割低下し月間3万円も浮いている。結果、経営に余裕が生まれる。乗務員の賃金確保のほかに合わせて本社営業所に、基本を配備した。

「プロパンガスを卸業者から直接購入するが、オートコンボ導入後、燃料代は3割低下し月間3万円も浮いている。結果、経営に余裕が生まれる。乗務員の賃金確保のほかに合わせて本社営業所に、基本を配備した。



LPガスで走るカロラと上野久明社長。「疲弊する地方タクシーのイメージを覆したい」と語る

「黒字化を掲げた上野社長が真先に目を付けたのは、燃料コスト。すでにLPガスとガソリンのバリエーションにも利用されている。部活動改造したトヨタ・カロラの新車16台を代替投入。燃費低減が即効。さらに3台を追加しジャンボタクシー(ハイエース)もLPガス仕様に改造した。並行して「オートコンボ」の導入に着手。2015年、片道30kmのスタンド通いに



湖西営業所のガススタンド。敷地に供給施設ができたことで、より地域住民への需要に応えやすくなったという

「プロパンガスを卸業者から直接購入するが、オートコンボ導入後、燃料代は3割低下し月間3万円も浮いている。結果、経営に余裕が生まれる。乗務員の賃金確保のほかに合わせて本社営業所に、基本を配備した。

「プロパンガスを卸業者から直接購入するが、オートコンボ導入後、燃料代は3割低下し月間3万円も浮いている。結果、経営に余裕が生まれる。乗務員の賃金確保のほかに合わせて本社営業所に、基本を配備した。

企画・制作 東京交通新聞社広告部

カグラペーパーテック株式会社 〒661-0025 兵庫県尼崎市立花町1-2-1 TEL06(6429)5820 http://www.kagla.co.jp/